

○平成25年度教員免許状更新講習事後アンケート 自由記述

科目番号: 11040

科目名: 「生きる力」を育むこれからの学校教育

開設日: 平成25年6月8日(土)～9日(日)

No	学校種	回答
1	小学校	今回の講義に関しては、大変勉強になり、有意義な時間を過ごすことができ、これからの自分の教職生活を考えていく上で参考になるし、またとても元気がでました。学生の頃に受講していた先生の講義でしたが、改めて教職につき、子育てをしてまた同じ内容の話を聞いてみると、あの頃とは違って、すごく理解しながら聞くことができました。また、先生の話が一貫しているのも、こちらも理解しやすかったです。とてもわかりやすい内容でした。これからの自分に参考にできる内容でした。運営に関してですが、批判ばかりしても始まらないし、どこに言えばいいのかもわかりませんが、一言。講習費は一律で決まっているものですが、やはり高すぎではないかと思えます。私はまだ、近隣からの受講の方だと思いますが、会場までの交通費、駐車場代、子どもがいるので一時保育料など見えないところでもいろいろ経費がかかります。このように学ぶ機会は大事だと思いますが、制度自体にも意味があるのか疑問を感じます。例えばですが、勤務時間内に組み込むなどもっと効率的に行えるようにするなど行うならもっと意義のある制度で実施してほしいというのが私個人の意見です。
2	小学校	二日間ありがとうございました。「生きる力を育むこれからの学校教育」という講座名から、子供中心の内容かと思いきや私たち教員のこれからの意識についての内容が多く、大変有意義な2日間でした。眠くならないように「眼がシャッキ」を用意していましたが必要なかったですね。とても楽しい時間でした。人数も丁度か少ないぐらいで、昨年必修を受けたときより座席に余裕があって資料を広げ、受講することができました。残念ながら私はこれで30時間終了です。機会があったらまたたっちゃんに講座に参加してみたいです。
3	高校	教職に携わる者として、まず自分自身とその時間・空間を楽しみ、自分自身が主人公として生きるということ、今後の現場に生かしていきたいと感じました。そうすることで、自分が関わる子供たちが、何かを感じてくれるのではないかと願います。
4	小学校	今回の講義を受けて、これまで自分が考えもしなかったような物事の見方や考え方を教えていただき、大変勉強になりました。少し物事の見方・考え方を変えただけで自分の肩の力が抜け、その結果子どもたちにもよい授業ができたり指導ができたりするのだと感じ、これからの教職生活に役立たせていきたいと思いました。
5	その他	内沢さんの授業は必修と今回の選択で2回受講しました。とても楽しかったです。内沢さんの授業で元気をもらいました。生徒と一緒にすごせばいい・生徒に自身と意欲を持たせる授業を・教職を楽しむことを優先順位が一番にそうだ、なるほど。と思ったことが、他にもたくさんありますが内沢さんが話されたことを、これからの教職人生に取り入れていきたいと思いました。内沢さんの授業を受けてほんとによかったです。発想の転換で楽しくなる、自信を持てる、このことを教えてもらったことが私にとって大きな収穫でした。ありがとうございました。
6	その他	工夫がたくさんされた講義で、楽しく受けることができました。資料の本も興味深く読ませていただきました。ありがとうございました。

7	中学校	講義の中身に実験等が多く、関連性のないものが多かった感じがする。内容には不満はないが、教育現場の現実とかけ離れた感じを強く受けた。理想と現実との差が否めなかった。すいません。
8	高校	自分にとって最初の免許状更新の講習であったが、先生(自分のことを先生と呼ばないでといわれていた。)が、オリエンテーションから緊張感を解いていただき、最後まで楽しく授業を受けられました。今までの固定観念を見直し、生徒のためというよりも、生徒の立場でというスタンスも大事だなと感じました。これからの約5年間の教員生活を有意義に楽しくやっていくための講義だったと感謝申し上げます。
9	その他	今まで聞いてきた講習の中で一番、自分自身大変興味を持つことが出来、もっと話を聞きたいと思えた充実した内容だった。教師自身が楽しく取り組み、いろいろな見方で物事を考えることの大切さを学ぶことが出来、大変良かった。
10	小学校	正直言って、免許講習のことを重荷に感じていました。ところが、参加してみると、日々の教育活動に役立つ講義や明日からの授業に活用できるものがたくさんあり、本当に有意義な2日間でした。不登校については、子どもも悪くない、親も悪くない、教師も学校も悪くない、不登校になって逆に得るものがあると考えることで、気持ちが軽くなりました。また、教職を楽しむために楽しい授業・わかる授業を作り上げていきたいです。そして、教師が元気で笑顔であれば、子どもたちも元気で笑顔になるということを忘れずに学校生活を送っていきたいと思います。このように元気とパワーをもらった2日間でした。講師の内沢さんには楽しくわかりやすい講義をしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。
11	小学校	2日間の講習は、とても短く感じられました。また、講習の進め方など、相手を講習に集中させるための教具の工夫や休息のタイミング(間の取り方)など、子どもたちへの学習指導にとて、とても参考になりました。学習指導の技法で、誰もが頭を使って学習に参加できる(頭の良さと関係なく)学習課題の設定は今後の教育に活用したいと思います。内沢先生が1日目に、次の日の朝に皿回しをしてよと言ってくだったので、2日目の朝は、朝一番に登校し皿回しにチャレンジしました。緑の皿は回しやすかったけど、白い皿は底に引っかかりが少なくちょっとしか回せませんでした。回しながら、先生は子どもへの指導について悟らせるために、皿回しを体験させてくれたのではないかと感じました。皿が子どもで、皿に与えるはじめての回転が子どもの自信や意欲。棒が教師で、棒の動きが教師の働きかけ。皿の動きを無視して回そうとしても落ちるし、棒を斜めにしても落ちる。皿は「引っかかり」(回しやすさ)というところで違いがあるが、皿という点では同じ。無理矢理回さないで皿に合わせて力を向いて抜いて回すと、皿は回ってくれることに気づきました。「生きる力を育むのは自信と意欲」と先生はおっしゃいました。自分もそう思っていました。そのためには「～すべき」とか「子どものためには」とかいった思い込みや一面的な考え方をし、結局は子どもたちの自信や意欲をそいでいたのではと思います。「子どものためには」という善意から子どもの自信喪失という悪事を生み出さないためにも、子どもの立場で考え、子どもを多面的にとらえる(他に害を及ぼさない「人間のありよう」すべてに価値がある)という考えをしていきたいと思います。また子どもたちに「生きる力を育む」ためには教師自ら「生きる力」が必要。そのために「ダメな自分も認める」・「A=A≠A」・「まねの大切さ」を肝に銘じて、「いい加減は良い加減」・「理想を掲げて妥協」・「負けるが勝ち」という言葉を心の支えに教育に従事していきたいです。この2日間という短い間でしたが、すばらしい視点を与えてくださり、本当にありがとうございました。

12	高校	<p>本講義を受け、今までの教師としての考え方・発想を一步前に進められたような気がします。学校生活で重要な生徒理解のために、有意義な講義を受けることができました。残された課題は、いかにこの発想を現場で活かすか、現実とのギャップをいかに埋めるかだと思います。</p>
13	特別支援学校	<p>教職員としての資質向上だけでなく、人間として思考や価値観などの幅を広げることができた講義だった。教員はつついままだまだ頑張れる、まだまだ努力しなくてはならないと向上心を常にもっておかなくてはいけないと、勝手に考え、できない自分をせめてしまう傾向があるが、この講義を受けて、そのままの自分でいいのだ、と考えることができた。ぜひ、内沢先生の講義を幅広い方に受けてもらいたい。講義を受けて、これからの人生に元気をもらいました。ありがとうございました。</p>
14	小学校	<p>二日間の講義を終了して、学校教育においては欠かすことができないものばかりでした。一点めは子どもたちへ興味・関心を引きつけるためには、机上だけでなく実際に「なぜ、そうなるの?」「このようにしたらこのようになった」・・・など、子どもたちの間から疑問点・結論へのプロセスが出てくるような授業展開の工夫・改善が必要であると痛感いたしました。二点めは、「不登校児への対応の仕方」です。不登校児の原因は、本人の問題をはじめ家庭・その他の問題等多岐に渡っていますが、周囲が他者について理解していないことから当本人の心情を十分に察知しなければならない、つまり「不登校は、明るい話である」という内容において共感的に拝聴することができました。物の見方・考え方次第で、今まで未知だった新しい発見を見出すことができることに「なるほどだな」と思いました。私自身、先生が仰られたように日々教職を自分の趣味のように楽しみながら務めております。現代の学校は、保護者や子どもたちからの様々な要望や相談事項等が山積しておりますが、難局面に突入した際は、彼らの声を反映しながら「最もな在り方は、どうあればよいか?」という点をお互いに話し合いながら納得がいくように進めております。三点めは、「自分自身が好きにならないと子どもたちも好きにならない」、つまり、そのことばは、学校現場においては、必要十分条件であると思います。教師自身の明朗さ・活カさが、子どもたちへ反映してくるものです。“子どものための学校”ましてや“子どもが存在するおかげで、学校教育が成立する”ことに感謝の気持ちでいっぱいです。内沢先生もお体には十分ご留意の上、ご精進ください。本当にありがとうございました。</p>
15	その他	<p>今まで思いもつかなかったものの見方、とらえ方を知ることができいろいろな気づきがあった。『そのまま』だけど、『そのままじゃない』・・・時には、子供の目線に降りて、自分の行動を振り返り、これからも自分自身が教職を楽しんで行きたいと思う。</p>
16	高校	<p>二日間楽しく受講させていただきました。「教師はこうあるべき」「生徒のために・・・」など、学校現場は「～すべき」の固定観念で溢れており、生徒も教師もしんどい思いの毎日です。それに疑問を持ちつつ、時には意見し時には逆に率先追従してきましたが、その自己矛盾も含めて、この講義に共感することが多くありました。「発達の転換で自信」を持ち、「思い込みから自由」になり、「自分が自分の主人公」になれる学校・人生であるように(妥協しつつ)心掛け、自分に生徒に向かい合っていこうと思います。これまで自分が漠然と抱いていた考えや思いに協力的な支援・後押しをいただきました。12時間の連続の講義は準備も含めて大変だったと思います。ありがとうございました。</p>

17	小学校	<p>自分自身の発想を変えさせられる講習だった。現場にいと、日々仕事に追われて、子どもたちとゆったり話をするとか、子どもたちが考えていることを聞いてみるとか、そういう実はいちばん大事そうなのがいちばん後回しになりがちだ。子どもたちも、自分たちも、誰でもみんな「認めてもらいたい」「自分で自分を認めたい」という気持ちが大いにあるって、それが叶ったら、いろんな力が湧いていくと思う。「そのまま」は「そのまま」だけど、「そのまま」じゃないという言葉も哲学的な感じだけど、その通りだと思っし、目の前が開けてくるような勇気が出ると思った。子どもたちの学習指導では、予想させること、模倣させることなど、簡単に取り組めるところからどんどん取り入れて実践していきたい。講習中も、面白く惹きつける材料がいっぱいあって、2日間楽しみながら受けることができた。そういうアイデアも参考にしてみたい。</p>
18	小学校	<p>2日間であったが、実践や実験を交えながらとても楽しく講義に参加することができました。新しい知識だけでなく、これまでのものの見方や考え方をあらためて見直すよい機会となりました。今回の講義での実践や実験を今後の教育活動に生かしていきたいと思います。</p>
19	小学校	<p>学生時代に受けた懐かしい講義が蘇りました。現場に入り、自分が間違っているのだろうかという不安にさいなまれることが多くなっている中で、自信を持って仕事をしていという安心感をいただきました。受けなければならないと義務を感じていた講習でしたが、貴重なリフレッシュする機会をいただき、感謝しています。「こうでなければならぬ」と枠の狭い考え方で生きている教員が多いので、もっと多くの方が内沢先生の話聞けるように夏季研修会等で話を聞ける機会を増やしていただけるとよいと思います。鹿児島市の教職員向けの講習会は遠方からはるばる呼ばれてくるにもかかわらず、中身のないことも多いですが、身近な鹿児島にもっとよい人材がいらっしゃるので、ぜひ活用していただきたいと思います。内沢先生がお元気になられて、再び話をお聞きできて、とてもうれしかったです。</p>
20	その他	<p>生きる力とは・・・まさに意欲と自信なのですね。学校で学んでいくことも、それに準じたものでなければならないと思えるようになりました。まずは、教師から。</p>
21	中学校	<p>2日間の講習でしたが、自身のこれまでの取組について見つめなおすことができました。ありがとうございました。</p>
22	中学校	<p>講義内容の中で、自分が自分の主人公として物事を考え、取り組んでいくという内容は驚きと同時に、大いに共感する部分もあった。楽しい授業を展開していくことで生きる力(自信、意欲)を育てていくような授業を今後意識していきたい。2日間、ありがとうございました。</p>

23	小学校	凝り固まった考え方に斬新な考え方を示唆してもらえた二日間であった。教職経験を重ねるごとに、ものごとを一方的な見方しかできなくなり、柔軟な考え方をもてなくなってくる。現場の忙しさのせいにして、「自分一人だけが辛い思いをしている」と思い込んでいたような気がする。それは、自分自身が勝手に創り上げた物であり、自分自身で追い詰めていたのだということに気づかされた。物事を多面的に見ることの大切さ、自分自身が楽しむことにより、プラス思考で物事をとらえ、他者にもいい影響を与えることを改めて学ぶことができた。今回学んだことを実践していきながら、自分なりの考え方を確立していきたい。そして、楽しい教職生活を送っていきたいと思う。
24	高校	学校現場の問題をどのような視点で打破すればよいのかとすることがよくわかった。
25	小学校	2日間、先生からとてもよいお話が聞けました。どの内容も興味をもって講義に参加することができました。
26	高校	今回、「生きる力」を育むこれからの学校教育という内容で講義が進められ、学生時代、教育学部で学んだことがない私にとってとても新鮮でありたのしい講義となりました。私たちが教員免許を取得した十数年前と今の教育現場はいつけん変わったと思っ ていましたが、実際はさほど変化はなく、教師の仕事がデスクワークに追われ生徒と向き合う時間が少なくなったことぐらいでしょうか。そのことを生徒が変わった、今の生徒はなどと決めつけ判断していた自分も正直いました。これからは今回の講義で学んだことを参考し、そして自分なりに解釈し頑張りすぎないように頑張りたいと思います。また10年後このような機会があれば積極的に参加し、自分自身を高めていきたいと考えています。
27	高校	初めての講習で緊張したが、充実した2日間でした。一番には、講習の内容がとても良かったのが挙げられます。こどもたちの「生きる力」を育むには、というテーマでしたが、何より受講している私たち教員が一番元気をもらったのではないのでしょうか。楽しい授業の実演では、参加した自分自身が授業を楽しみました。その一方で、登校拒否の生徒やその保護者との長年の関わりを講師の先生が話される時には、その迫力に圧倒されました。また、講習を受けるに当たって、運営面でのスムーズな対応も(登録の仕方、受講に関する連絡など)非常に嬉しかったです。講師の先生、本講習を運営されるスタッフの方々、本当にありがとうございました。
28	小学校	大変すばらしい内容で、2日間があっという間でした。実験や模擬授業等で受講者の興味関心を高めながら講義が進められたので、とても楽しく理解を深めることができました。発想を転換して子どもの実態や自分自身を見直すことで、教育を明るくとらえることができるようになりました。不登校の児童に対する考え方もこれまでにないので、参考になりました。
29	小学校	内沢さんの講義は、大変興味深く、私たちが日常抱えている問題を、解決にみちびいてくれる鍵を示してくれました。本講義を選択して良かったです。

30	小学校	自分の教育観について自信があるかを確かめられているような有意義な講習だった。「不易と流行」という点では「流行」的な考えかもしれないが、理論が終始一貫しているところが素晴らしい。「これから自分の実践にどのように結びつけることができるだろう」「どのように結びつのだろうか」と楽しみなどころである。内沢先生(さん)本当にありがとうございました。
31	その他	2日間ありがとうございました。自分が自分の人生の主人公として生きれるように自分を大切にしていきたいと思います。また「生徒のために」だけでなく「生徒の立場で」を大切にしていきたいと思います。
32	幼稚園	緊張して出向いた研修でしたが、内沢先生の興味ある講義に、眠気もこず、楽しく講義を受けることが出来ました。いろいろな教材が出てきて、大人の私たちでさえ「何が始まるんだろう」とワクワクしたので、子どもたちは、こういう授業を受けると、楽しい中で自分で考え、自然と身につけていくことが多いだろうなと思いました。幼稚園は特に、こういう「なぜ?」「どうして」「そうなんだ」と思う場面をたくさん作り、楽しくいろいろなことに興味を持ってほしいと思いました。そう思えるよう、自分も楽しみながら保育をしていこうと改めて思いました。絵本作家の五味太郎さんが、「子どもたちといっしょに気持ちよく過ごす」ことができるかを考えていると記されていたが、全くそのとおりだと改めて思いました。初心に帰れる講義となりました。素敵な2日間の講義をしてくださった、内沢先生、本当にありがとうございました。
33	小学校	「人が人を変えようとするから教育は難しくなる。人は変わる時は自分の意思で変わる。だから、教育を難しくしているのは先生方かもしれない。人はまずそのままがいいと認めてあげることが大切である。」という言葉が印象的でした。ほかに、これまでに考えたことなかった見方から物事を見てみることができそうな気がしてきました。またそれを楽しめそうな気がします。講座の中で紹介していただいた「桑田真澄著 野球が好きになる7つの道」も読んでみようと思います。楽しく学べる講座をありがとうございました。
34	幼稚園	今回この講義を受講して、子供たちと関わっていくうえでたくさんの考え方や、接し方が今までの自分と違ってとても参考になりました。どんなときも自分が楽しくすることが一番大切なことなんだなと思わず少しゆっくり楽しもうと思いました。今回二日間の講義は、とても楽しくあっという間に過ぎてしまって、もっと内沢先生の講義を聞きたかったです。今のままの自分を大切にしながらもっと素敵な先生になれたらいいなと思います。本当にありがとうございました。
35	高校	生きる力、たのしく学び楽しく生きる・・・当たり前のことなのでしょうが、いざ現実的に仕事に当てはめて考えると難しい・・・そう考えてきました。講義を受講した後でも、なかなかその考えを覆すことは難しい側面もあることは否めません。しかし、内沢先生の講義は、実際に楽しく、しかしその中でも、伝えたいことは確実に我々の脳にひびく講義でした。自分が楽しく授業できなければ、生徒も楽しめるはずはない、だからこそ自分が楽しめる授業をと強く思えるようになったことが自分にとっては最大の収穫です。実践となると難しい面もあるでしょうが参考図書のご案内などもあり、たくさんの手掛かりを与えて頂きました。マッチ棒の実験やレンズの実験など、いろいろな場面で活用可能であり興味深く楽しみたいけんさせて頂きました。先生からお教授頂いたことを今後少しでも生かせればと思っています。生かせるも殺すも、結局は自分自身だと考えているので、日頃から、ちょっとでも意識を変えて物事に臨みたいと思います。ありがとうございました。

36	高校	2日間の講義を受講し、これまでの視点とまったく違う視点に気付かされました。自己肯定がこんなにも大事であること、自分が主人公として考えていくことなど「生きる力」という不明確なものを具体的な事例を用いて説明がありとても分かりやすいものでした。不登校生徒に対する関わりなどまだ十分に納得しきれていない部分もありますが、今回の講義の話を1つの選択肢として幅広い視野を持って行きたいと思えます。ありがとうございました。
37	小学校	普段教えてもらえないような講義内容だったので、興味深く聞くことができた。2日間の日程の中で、実践にすぐ生かせる内容でもあり、教師観をくつがえすような衝撃的な講義を受けられ、大変うれしく思った。色々な教具も準備されていて、実際に触ったりすることで子どもの気持ちにもなれた。また、学級でも使いたくなり、自分も準備しておこうと思った。また、教えていただいた「自分が一番楽しむことが大切だ」ということをいつも心に思うことで、気持ちが軽くなった。何でも、力が入り過ぎて、空回りしないように、これからの教師生活を過ごしていきたいと思う。講師の先生に感謝して、また、先生の講義を聞きたいと思った。
38	その他	幼稚園教諭時代に子ども達に必要な事の一つとして強く感じていたのが『生きる力』でした。現場を離れている今だからこそ気付くことも多く、とても有意義な二日間でした。ありがとうございました。教育現場だけではなく、仕事をする、人との関わり、生き方、物事には光と影、二面性、様々な考えかたがあることは認識していたつもりでしたが、いかに自分が一面からの視点に偏っていたのかを再認識させられました。『自分が自分の主人公』がとても心に響きました。苦しめるのも、幸せにするのも自分次第！今、内沢さんの講義に出会えたことに感謝です。いつか、現場にもどって教職につくことが楽しみにになりました。
39	その他	・「生きる力」を育むこれからの学校教育について深く学習することができた。最も印象深かったのは、子ども一人一人が自信や意欲を持つことが生きる力を育むこと、さらに教師自ら現在の職業を楽しみ、自信や意欲を持つことで、そのことが、子ども自身も考え、学ぶことができるということだった。これは現在の自分を振り返るよい機会となった。今回学んだことを現場で生かしていきたいと思う。
40	その他	久しぶりに二日間という長い講義を受けに行きました。自分が受ける幼稚園教諭の人以外に小学校教諭、中学校教諭、高校教諭等様々な人がいて、年齢も幅広く普段同じ業種の短い講習会を受ける雰囲気とはまた異なった雰囲気がありました。教授の質問に挙手したり自分の意見を答えていく参加形式が多く、いろいろな人の考え方が分かり自分自身も講義のあいだ中、頭を使い試行錯誤を繰り返していました。自分の今までの考えとは180度異なる考え方や、子供に接する時の対応の仕方がありとても参考になりました。「子供のために」ではなく「子供の立場」で考えながら、自分がしたいと思った行動を取り、上手くいった基準は自分が楽しくなったか(気持ちよくなったか)でよいという考え方がとても参考になり、これからの仕事はもちろん生活の中に活用できそうです。
41	高校	今回、初めての受講でしたが二日間の内容がとても充実していて楽しい授業でした。学校では、個人レッスンという形で生徒と接しておりますが、私にとってプラスになる内容だったので、早速取り入れてます。本当に私の人生において、何かが変わった二日間でした。ありがとうございました。